

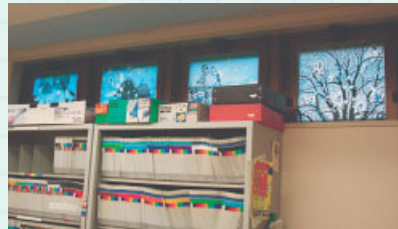
子どもの目線を大切にしたい
「物語」のある空間です



子供のためのコーナーとして待合の一角に用意された畳コーナー。受付のカウンターも子供の目線にあわせて低くしています。



アクリルケースの中を走るミニチュアの列車。ケース上のぬいぐるみ達もどことなく楽しそうです。



西日が差し込む排煙窓に遮蔽のために貼った影絵のカレンダー。まるでスタンドグラスのように幻想的です。

佐久間耳鼻咽喉科は小学生以下の子ども患者さんも多く、院内には子どもが楽しめる工夫がたくさんあります。まず入り口に入って最初に目を引くのは、正面の受付の背景に収められたカラフルなカルテファイル。たくさんの色のハーモニーがまるで音符のように踊り、患者さんを楽しく出迎えてくれます。さらに正面上部を見ると、高窓に影絵がはめ込まれていて、夕方の西日が差し込む時刻には影絵の楽しい物語を眺めながら診察の順番を待つことができます。また、受付カウンターには通常の高さのカウンターに加えて子供の背の高さに合わせた低めのカウンターも用意されており、ここにも子どもの目線を大切にしたい工夫がな

されています。カウンターの素材は木製でも親しみやすい雰囲気です。一方、診察室の処置用の吸引コーナーには、ミニチュアの列車が走るアクリルケースが設けられていて、行き来する列車を眺めながら楽しく処置を受けることができます。

「医院はアメニティが第一」とおっしゃる院長先生のお言葉の通り、随所に子どもたちが楽しく安心して受診できる工夫がなされていて、受付～待合～診察～処置といった一連の流れの中で思わずわくわくしてしまう、そんな「物語」のある空間になっています。



三上 紀子
レジオン・コンサバティブ株式会社代表取締役
一級建築士、インテリア・コーディネーター
住宅設計、病児保育施設・クリニック等のインテリアデザイン、コーディネート・コンサルティングの分野にて活動中。
URL: <http://www.legion.co.jp/>

美味 しいものは
営業 が知っている



今回ご紹介する「おいしいもの」は、ちょっと趣向を変えて食べ物ではなく帽子です。

「Prifio」というあまり有名ではないブランドですが、ではこの帽子、何がおいしいかというと、それは（かぶり心地）です。

デザインに凝った帽子は数あれど、裏地の生地素材や縫製の糸にまでこだわっており、そして何よりかぶる人の頭の寸法に合わせて一品物を作ってくれるところはそう無いのではないのでしょうか。

こだわりの帽子

あたまの上で帽子がフワフワしたり、せっかくの帽子がきつくてあたまが痛い！なんていやですよ。男女とも商品があるので本格的な帽子を求めている人にはお勧めです。

購入はネット販売のみのようなので下記URLで訪問してみてください。



Prifio <http://www.rakuten.co.jp/prifio/index.html>